

ふちゅうししょうがいしゃけいかく ふちゅうししょうがいふくしけいかく
府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・
ふちゅうししょうがいふくしけいかくさくてい ちょうさ
府中市障害児福祉計画策定のための調査（案）
こ そだ はったつ かん ちょうさ ねが
子どもの育ちや発達に関する調査についてのお願い

しみん みな ひ しせい はってん りかい きょうりよく あつ れいもう
市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

ふちゅうし みな いけん ようぼう はばひろ き れいわ ねん がつ さくてい よてい
府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、令和9年3月に策定を予定しております「府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・府中市障害児福祉計画」の基礎資料とするために、調査を実施します。

ちょうさ ふちゅうし す さいみ まん しんたいしょうがいしゃてちょう あい てちょう せいしんしょうがいしゃ
この調査は、府中市にお住まいの18歳未満の身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費受給者証、児童通所受給者証・障害福祉サービス受給者証をお持ちの方の中から、1,000名を無作為に選ばせていただき、保護者の方にご意見やご要望をおうかがいするものです。

かいとう ないよう どうけいてき しより ふちゅうしこじんじょうほう ほご
ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「府中市個人情報の保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

れいわ ねん がつ ふちゅうし
令和7年10月 府中市

きにゅう ねが
記入についてのお願い

1. ふうとう な こ ほごしゃ かた きにゅう ねが ちょうさひょう
封筒のあて名のお子さんについて、保護者の方がご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「お子さん」とは、封筒のあて名の方を指します。保護者の方の回答がむずかしい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただき、記入してください。
2. こ えんぴつまた くろ きにゅう
濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
3. こた をいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
[] の場合は回答内容等を記入してください。
4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」に○印をつけられた方は、[] 内に具体的な答えを記入してください。

ちょうさひょう へんしんようふうとう じゅうしょ しめい きにゅう ひつよう
調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。
きにゅう お ちょうさひょう どうふう へんしんようふうとう きって ふよう い
記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

が につ げつ
11月17日（月）までに へんそう
ご返送ください。

ちょうさ しつもん つぎ と あ
調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

といあわ さき
【問合せ先】

ふちゅうしふくしほけんぶしょうがいしゃふくしか
府中市福祉保健部障害者福祉課 TEL 042-335-4545

※ 設問文における「お子さん」とは封筒のあて名のお子さんのことを指します。
また、「あなた」とは記入者のことを指します。

F 1 記入される方とあて名のお子さん（以下、お子さん）との関係についておたずねします。（1つに○）

- | | |
|-------|----------|
| 1. 母親 | 4. 祖母 |
| 2. 父親 | 5. その他 |
| 3. 祖父 | 〔具体的に： 〕 |

F 2 お子さんはどちらにお住まいですか。（1つに○）

福祉エリア	町名
1. 中央	天神町（1・2丁目）、幸町、府中町、緑町、宮町、八幡町、日吉町、宮西町（1丁目）、寿町、晴見町（1・2丁目）
2. 白糸台	白糸台（車返団地除く）、小柳町（1・3丁目）、若松町（1・2丁目）、清水が丘（3丁目）
3. 西府	東芝町、本宿町、日新町、西府町
4. 武蔵台	武蔵台、北山町、西原町
5. 新町	浅間町、天神町（3・4丁目）、新町、晴見町（3・4丁目）、栄町
6. 住吉	南町、分梅町（2～5丁目）、住吉町
7. 是政	小柳町（2・4～6丁目）、清水が丘（1・2丁目）、是政
8. 紅葉丘	多磨町、朝日町、紅葉丘、若松町（3～5丁目）
9. 押立	押立町、車返団地
10. 四谷	四谷
11. 片町	矢崎町、本町、片町、宮西町（2～5丁目）、分梅町（1丁目）、日鋼町、美好町
12. 市外	

あて名のお子さんについておたずねします

F 3 お子さんの性別と年齢をお答えください。（1つに○）

* 戸籍上の区別とは別にお子さんのお気持ちを踏まえて、ご記入ください。

(1) 性別

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

(2) 年齢 * 令和7年4月1日現在の年齢でお答えください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 乳児期（0～1歳） | 4. 小学校高学年（9～11歳） |
| 2. 幼児期（2～5歳） | 5. 中学生（12～14歳） |
| 3. 小学校低学年（6～8歳） | 6. 高校生（15～17歳） |

F 4 お子さんがお持ちの手帳または受給者証の種類ごとに、現在の程度に○をつけてください。

お持ちの手帳等の種類	現在の手帳の程度・受給状況					
身体障害者手帳	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級
愛の手帳	1 度	2 度	3 度	4 度		
精神障害者保健福祉手帳	1 級	2 級	3 級			
特定医療費受給者証	1. 受給している〔対象の疾病： 〕 2. 受給していない					
児童通所受給者証・障害福祉サービス受給者証	1. 受給している〔利用中のサービス： 〕 2. 受給していない					

F 5 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。お子さんの身体障害者手帳に記載された項目は次のどれですか。（いくつでも○）

1. 視覚障害
2. 聴覚障害
3. 音声・言語・そしゃく・平衡機能障害
4. 肢体不自由（上肢・下肢・体幹の障害）
5. 内部障害（心臓・肝臓・腎臓・呼吸器・膀胱・直腸・小腸・免疫機能の障害）

F 6 お子さんの主な障害や疾病が生じたのは、いつごろですか。（1つに○）

1. 出生時（出生前を含む）
2. 乳幼児期（0歳～小学校入学前）
3. 学齢期（小学校入学～中学校卒業）
4. 中学校卒業後～17歳ころ
5. 分からない

F 7 お子さんと同居*している方はどなたですか。（いくつでも○）

* 2世帯住宅は同居としてお答えください。

* お子さんの父母の親族を含めてお答えください。

- | | |
|----------|----------------|
| 1. 母親 | 4. 兄弟、姉妹 |
| 2. 父親 | 5. 親族 |
| 3. 祖父、祖母 | 6. その他〔具体的に： 〕 |

お子さんの通園・通学の状況についておたずねします

問1 お子さんは現在、保育所・保育園・幼稚園や学校に通っていますか。

(1つに○)

1. 保育所・保育園・保育ルーム
2. 幼稚園
3. 特別支援学校幼稚部
4. 公立小学校（通常の学級に在籍）
5. 公立小学校（通常の学級に在籍し通級指導学級・特別支援教室も利用）
6. 公立小学校（特別支援学級に在籍）
7. 特別支援学校小学部
8. 私立小学校
9. 公立中学校（通常の学級に在籍）
10. 公立中学校（通常の学級に在籍し特別支援教室も利用）
11. 公立中学校（特別支援学級に在籍）
12. 特別支援学校中学部
13. 私立中学校
14. 高等学校
15. 特別支援学校高等部
16. その他〔具体的に： 〕
17. どこにも通っていない

問1-1 問1で「1」～「16」と答えた方におたずねします。

お子さんの通園・通学で、困っていることはありますか。(1つに○)

1. 通わせたい園・学校に通えない
2. 通園・通学の送迎が大変
3. 通っている園・学校の配慮が十分ではない
4. 通っている園・学校が子どもに適しているのか分からない
5. その他〔具体的に： 〕
6. 特にない

す お住まいについておたずねします

とい 問2 あなた（記入者）のお住まいは次のうちどれですか。（1つに○）

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 持ち家の一戸建て | 6. グループホーム |
| 2. 持ち家の集合住宅 | 7. その他 |
| 3. 民間賃貸の一戸建て | 【具体的に： |
| 4. 民間賃貸の集合住宅 | |
| 5. 公営住宅、UR・公社の賃貸住宅 | |

とい 問3 お住まいについて何か困っていることがありますか。

（1）設計・設備について（いくつでも○）

1. 階段や段差に苦労する
2. 浴室・トイレなどの家屋内の設備が不便
3. 住宅が狭い・または十分な部屋がない
4. 入り口や廊下のスペースが狭く移動がむずかしい
5. 駐車場がない
6. エレベーターがない
7. 耐震補強ができていない
8. その他〔具体的に：
9. 特に困っていない

（2）住宅事情について（いくつでも○）

1. 家賃が高い
2. 駅から遠い、買物が不便など、立地が悪い
3. 近隣に住む人との間に問題を抱えている
4. お子さんが大きな声を出したり動き回っていることに、近隣から苦情を受けている
5. 電車の音や人の声など騒音が気になる
6. その他〔具体的に：
7. 特に困っていない

とい 問4 お住まいに関する困りごとで、希望する支援は次のどれですか。（いくつでも○）

1. 住宅設備を改善する工事費用の給付
2. 家具転倒防止器具の支給
3. 住宅費の助成
4. 障害等や子どもの育ちや発達に対する不動産会社の理解促進
5. 障害等のある人や発達が気になるお子さんに対する近隣住民の理解促進
6. その他〔具体的に：

問5 お子さんは、日常生活において障害や疾病などがあるために何らかの介助を受けていますか。(1つに○)

1. 受けている → 問5-1、5-2、5-3にお答えください
 2. 受けていない → 問6へ進む

問5-1 問5で「1. 受けている」と答えた方におたずねします。

(1) 介助をしている人はどなたですか。(いくつでも○)

- | | |
|-------|--------------------|
| 1. 母親 | 5. 近所の人 |
| 2. 父親 | 6. ボランティア |
| 3. 祖父 | 7. 公的なサービス(福祉サービス) |
| 4. 祖母 | 8. その他〔具体的に： 〕 |

(2) 主に介助している人はどなたですか。

((1)の選択肢から1つだけ の中に記入してください)

主な介助者

問5-2 問5で「1. 受けている」と答えた方におたずねします。

お子さんは、障害や疾病などの支援として公的なサービス(例：ホームヘルプ・訪問看護)による介助を1週間のうち何日ぐらい受けていますか。
(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 毎日 | 4. 週に1日 |
| 2. 週に4～6日 | 5. 受けていない |
| 3. 週に2～3日 | |

問5-3 問5で「1. 受けている」と答えた方におたずねします。

お子さんは、障害や疾病などの支援として家族・親族・ボランティア(公的なサービスを除く)の介助を1週間のうち何日ぐらい受けていますか。
(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 毎日 | 4. 週に1日 |
| 2. 週に4～6日 | 5. 受けていない |
| 3. 週に2～3日 | |

福祉サービスの利用についておたずねします

問6 お子さんの福祉サービスの利用状況・利用意向について、おたずねします。(1)
～ (14) のそれぞれについて、「1」～「7」にいくつでも○をつけてください。

	利用できている 希望通り	希望通りではない 利用しているが 希望通りではない	利用したいが 事業所に空きがない	利用したい事業所 がない	今後、利用したい	利用したくない	分からない
(1) 居宅介護（ホームヘルプ） 自宅で、食事・排せつ・入浴の介護など、日常生活上の支援を行うサービス	1	2	3	4	5	6	7
(2) 同行援護 視覚障害により、移動に著しい困難を有する障害等のある人の外出に同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護などを提供するサービス	1	2	3	4	5	6	7
(3) 行動援護 知的障害・精神障害により行動に著しい困難のある人に、行動の際の危険回避、その他の支援を行うサービス	1	2	3	4	5	6	7
(4) 短期入所（ショートステイ） 自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で、食事・排せつ・入浴の介護などを提供するサービス	1	2	3	4	5	6	7
(5) 児童発達支援 障害のある児童（療育の必要な児童）に日常生活における基本的動作の指導、自活に必要な知識や技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を行うサービス ※「はばたき」児童発達支援（すてっぷ）含む	1	2	3	4	5	6	7
(6) 放課後等デイサービス 就学児に学校授業終了後や休業日に生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進など多様なメニューを提供するサービス	1	2	3	4	5	6	7
(7) 保育所等訪問支援 児童指導員や保育士等の専門職が、保育所や学校などを2週間に1回程度訪問し、障害児が集団生活に適應できるような環境を整えるために、保育所や学校の職員に対して助言等を行うサービス	1	2	3	4	5	6	7

次ページの(8)～(14)にもお答えください

	利用できている 希望通り	希望通りではない 利用しているが 希望通りではない	利用したいが 事業所に空きがない	利用したい事業所 がない	今後、利用したい	利用したくない	分からない
(8) 居宅訪問型児童発達支援 重度の障害等により外出が困難な障害児に対し、居宅において児童発達支援を行うサービス	1	2	3	4	5	6	7
(9) 障害児相談支援 障害児通所支援を利用する前に障害児支援利用計画を作成し、通所支援開始後、一定期間ごとにモニタリングを行う等のサービス	1	2	3	4	5	6	7
(10) 移動支援 ガイドヘルパーが、同行し、移動の手助けや交通機関の利用の補助などの外出をサポートするサービス	1	2	3	4	5	6	7
(11) 日中一時支援 障害等のある人の日中における活動の場を確保し、障害者などの家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図る事業	1	2	3	4	5	6	7
(12) 意思疎通支援 手話通訳者、要約筆記者の派遣を行うサービス	1	2	3	4	5	6	7
(13) 補装具費の支給・日常生活用具費の給付 義足や車いすなどの補装具、日常生活用具の費用を支給・給付するサービス	1	2	3	4	5	6	7
(14) 子ども発達支援センターはばたき グループ支援・個別支援 発達が気になる未就学の児童を対象に、親子グループ活動や個別支援、市内保育所等との連携など行うサービス	1	2	3	4	5	6	7

問6-1は、問6の(1)～(14)で1つでも「1」「2」と答えた方におたずねします。
すべて「3」～「7」と答えた方は問7へお進みください。

問6-1 福祉サービスについて、満足していますか。(1つに○)

- | | | | |
|---------|-----------|---------|------------------|
| 1. 満足 | } → 問7へ進む | 3. やや不満 | } → 問6-2にお答えください |
| 2. やや満足 | | 4. 不満 | |

問6-2 問6-1で「3」「4」と答えた方におたずねします。
福祉サービスの不満な理由はどれですか。(いくつかでも○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. サービス支給量が少ない | 7. サービス内容が分かりにくい |
| 2. 相談先が少ない | 8. サービスの情報が入手しにくい |
| 3. 希望する事業者や施設が見つからない | 9. その他 |
| 4. 緊急時に利用できない | 〔具体的に：〕 |
| 5. 費用負担が大きい | |
| 6. 利用方法が分かりにくい | |

問7 あなたは、外出の際に何らかの制度を受けていますか。(いくつかでも○)

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. ガソリン費助成を受けている | 6. 移動支援 |
| 2. タクシー券の交付を受けている | 7. その他 |
| 3. 重度訪問介護を利用している | 〔具体的に：〕 |
| 4. 同行援護を利用している | 8. 何も受けていない |
| 5. 行動援護を利用している | |

問8 問7で何らかのサービスを受けている方にお伺いします。現行の制度について感じていることを教えてください。(いくつかでも○)

1. 現行の「ガソリン費用助成」を維持してほしい
 2. 現行の「タクシー券制度」を維持してほしい
 3. 支援内容を見直し、「外出手当（定額支給）」へ変更してほしい
 4. 支援は必要だが、他の方法（地域バス、送迎サービスなど）も検討してほしい
 5. 外出支援は不要だと感じている
- ※利用実績に関わらず、一律に定額を支給すること

お子さんの育ちや発達^{こ そだ はったつ しょうきよう}の状況についておたずねします

問9 あなた^{きにゆうしゃ}（記入者）はお子さんの育ちや発達^{こ そだ はったつ}について、気になったことはありますか。初めて気になった時期^{はじ き}についてお答えください。（1つに○）

- | | |
|---|---|
| 1. 0歳 ^{さい} ～2歳 ^{さい} | 4. 中学校 ^{ちゅうがっこう} 〔 〕年生 ^{ねんせい} |
| 2. 3歳 ^{さい} ～就学前 ^{しゅうがくまえ} | 5. 高等学校 ^{こうとうがっこう} 〔 〕年生 ^{ねんせい} |
| 3. 小学校 ^{しょうがっこう} 〔 〕年生 ^{ねんせい} | 6. 気になったことはない |

問10 あなた^{きにゆうしゃ}（記入者）はお子さんの育ちや発達^{こ そだ はったつ}について、次の人・相談機関等^{つぎ ひと そうだんき かんとう そうだん}に相談したことはありますか。（いくつでも○）

- | | |
|--|--|
| 1. 家族・親族 ^{かぞく しんぞく} | 10. 児童相談所 ^{じどうそうだんじょ} |
| 2. 友人・知人 ^{ゆうじん ちじん} | 11. 市役所（保健センター等も含む） ^{し やくしょ ほけん など ふく} |
| 3. 保育園・幼稚園・学校 ^{ほいくえん ようちえん がっこう} | 12. 東京都の保健所 ^{とうきょうと ほけんじょ} |
| 4. お子さんと同じ状況 ^{こ おな じょうきよう} の子どもがいる人 ^{ひと} | 13. 東京都立の療育機関 ^{とうきょうとりつ りょういくき かん} |
| 5. 民生・児童委員 ^{みんせい じどうい いん} | 14. 医療機関（東京都立の療育機関を除く） ^{いりょうき かん とうきょうとりつ りょういくき かん のぞ} |
| 6. 児童館 ^{じどうかん} | 15. その他 ^た |
| 7. 子ども家庭支援センターみらい ^{こ かていし えん} | 〔 具体的に： 〕 |
| 8. 子ども発達支援センターはばたき ^{こ はったつし えん} | |
| 9. 地域生活支援センター ^{ちいきせいかつし えん} | 16. どこにも相談 ^{そうだん} していない →問11へ進む ^{すす} |

問10-1 問10で「1」～「15」のいずれかを選んだ方^{えら かた}におたずねします。相談をしたことで、どのような効果^{こうか}がありましたか。（いくつでも○）

1. 話を聞いてもらって気持ち^{きもち}が楽^{らく}になった
2. 具体的な対応方法^{ぐたいてき たいおうほうほう}を考えることができた
3. 適切な相談機関・医療機関^{てきせつ そうだんき かん いりょうき かん}を紹介^{しょうかい}してもらった
4. 家族^{かぞく}で子どものことについて話し合う時間^{はな あ じかん}が増えた
5. 支援^{し えん}を受けて子どもが成長^{せいちょう}した
6. 様々な情報^{さまざま じょうほう}をもらい、子育て^{こそだ}の役に立^たった
7. 同じ悩み^{おな なや}を持つ保護者^もと知り合い、共感^{あ じかん}することができた
8. その他〔具体的に： 〕
9. 特に変化^{とく へんか}はない

問11 あなた^{きにゆうしゃ}（記入者）はお子さんの育ちや発達^{こ そだ はったつ}について、医療機関^{いりょうき かん}で診断^{しんだん}を受けましたか。（1つに○）

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| 1. 診断 ^{しんだん} を受けた | 2. 診断 ^{しんだん} を受けていない |
|----------------------------|-------------------------------|

問12 あなた（記入者）は、障害等のある人や育ちや発達が気になる子に関する府中市内の次の相談機関等を知っていますか。（（1）～（5）について、それぞれ1つに○）

	利用して 知っている	利用して いない	知らないが、 今後利用したい	知らない・ 利用したくない・ 利用予定はない
(1) 地域生活支援センター（み～な、あけぼの、プラザ、ふらっと） 地域で生活する障害等のある人やご家族に対し、生活全般の相談、サービス利用、当事者相談などを行っています。	1	2	3	4
(2) 子ども発達支援センター はばたき ことばが遅い、落ち着きがない、友達と遊べないなど、子どもの発達や学校生活のことで気になっている方や悩んでいる方に対しご相談内容に応じ、支援内容を検討しています。	1	2	3	4
(3) 身体障害者相談員・知的障害者相談員 身体障害、知的障害のある人の相談に応じ、必要な援助を行うため、市内に相談員が配置されています。	1	2	3	4
(4) 聴覚障害者相談事業 相談や申請などで市役所に来庁した聴覚障害のある人の手話通訳を行います。	1	2	3	4
(5) 障害児相談支援事業所 障害福祉サービス等の利用の開始や継続に際して、障害等のある人やご家族からの相談を行っています。	1	2	3	4

問13 あなた（記入者）は、お子さんの育ちや発達へのライフステージに合わせた切れ目のない支援として、次のうちどのようなことを希望されますか。（いくつでも○）

1. 乳幼児期から高等学校・特別支援学校高等部卒業まで一貫して相談・支援を受け続けられること
2. 入学・進学などのタイミングでお子さんへの支援情報が途切れないこと
3. 入学・進学などのタイミングに合わせて、関係する支援機関の紹介を受けられること
4. お子さんに関わる教育、保健、医療、福祉など関係機関の連携が強化されること
5. 不安なことなどがあつたときに支援機関へとつないでくれる専門の職員がいること
6. 子どものライフステージに合わせた保護者支援が行われること
7. その他〔具体的に： 〕
8. 分からない

問14 あなた（記入者）は、将来、お子さんにどのようなところで働いてほしいと考えていますか。（1つに○）

1. 会社やお店などで働く（一般就労）
2. 地域の障害者施設（作業所など）で働く（福祉的就労）
3. その他〔具体的に： 〕
4. 分からない
5. 働くことは困難だと思う

防災についておたずねします

問15 災害時に困ること・不安なことは何ですか。（いくつでも○）

1. 避難所で避難できるか心配
2. 市の緊急速報メールを受信できるか分からない
3. お子さんのことを人に伝えて、うまく支援を受けられるか不安
4. 避難を支援してくれる人がいない
5. 災害や避難に関する情報が得られるか心配
6. 障害等のある人に配慮した避難所があるのか分からない
7. 大勢の人の中での避難所生活に不安がある
8. 医療を受けられるか分からない
9. 呼吸器等に使用する非常用電源を利用できるか分からない
10. 障害等のある人向けの防災マニュアル、防災マップがない
11. 避難場所が分からない
12. その他〔具体的に： 〕

問16 災害時に備えて、ふだんからどのようなことを行っていますか。（いくつでも○）

1. 防災グッズ（非常用食料、飲料水等）の準備
2. 家具の固定、ガラス拡散対策
3. 貴重品・常備薬等をすぐ持ち出せるよう準備
4. 避難場所・ルートの確認
5. 防災訓練への参加
6. 災害時要援護者登録の対象になる場合、その登録
7. 緊急連絡先や支援の方法を記載した防災手帳やヘルプカードの準備
8. 補聴器の電池など日常生活に必要な用具に係る消耗品の備蓄
9. 呼吸器等の電源確保のための非常用電源装置等の準備
10. 簡易筆談器などコミュニケーション支援のための道具の準備
11. 日ごろの近所づきあいや自治会・町会等の活動など地域との関わりを深める
12. その他〔具体的に： 〕

問17 地震などの災害が発生したときに、避難所で配慮してほしいことは何ですか。
(いくつでも○)

1. 段差がない、手すりのあるトイレなどの施設のバリアフリー
2. 文字や音声など複数の情報伝達手段があること
3. 手話などのコミュニケーション手段の確保
4. 個室、間仕切り（パーティション）などでの対応が可能であること
5. 相談窓口や介助スタッフがいること
6. アレルギー対応食や介護食、離乳食などの確保
7. 医療や医薬品の確保
8. 配給などに並ぶことができない場合の支援
9. 他の避難者のお子さんへの理解
10. その他〔具体的に：
11. 特にない
12. 分からない

医療・医療的ケアについておたずねします

問18 お子さんは、日常的に何らかの医療・医療的ケアを必要としていますか。障害者手帳所持の有無に関わらずお答えください。（1つに○）

1. 必要としている → 問18-1、18-2にお答えください
2. 必要としていない → 問19へ進む

問18-1 問18で「1. 必要としている」とお答えの方におたずねします。
現在、お子さんはどのような医療・医療的ケアを受けていますか。

(いくつでも○)

- | | |
|-----------------|---------------------------------|
| 1. 人工呼吸器管理 | 8. 経管栄養
(経鼻・胃ろう・腸ろう・腸管栄養を含む) |
| 2. 気管内挿管、気管切開 | 9. 継続する透析（腹膜灌流を含む） |
| 3. 酸素吸入 | 10. 定期導尿 |
| 4. 経鼻咽喉頭エアウェイ管理 | 11. 人工肛門 |
| 5. 痰などの吸引 | 12. 服薬管理 |
| 6. ネブライザー | 13. その他〔具体的に： |
| 7. 中心静脈栄養 | |

問18-2 問18で「1. 必要としている」とお答えの方におたずねします。
お子さんの医療・医療的ケアにあたって、困りごとはありますか。

(いくつでも○)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 在宅での医療的ケアがたいへん | 9. 訪問看護ステーションがない |
| 2. 通院などの移動がたいへん | 10. 困った時の相談先が分からない |
| 3. 長時間の介助がたいへん | 11. 医療的ケアに関する情報が少ない |
| 4. 休日・夜間の介助がたいへん | 12. 家族への支援が少ない |
| 5. 医療的ケアの費用負担が大きい | 13. 成人後に受診できる医療機関があるか不安 |
| 6. 通園・通学先の受け入れが難しい | 14. その他 |
| 7. 緊急時・急変時の対応が難しい | 〔具体的に： |
| 8. 身近に対応可能な医療機関がない | 〕 |

地域・共生社会についておたずねします

問19 障害等のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支えあって暮らすことをめざす「共生社会（ノーマライゼーション）」という考え方がありますが、この「共生社会（ノーマライゼーション）」は府中市民に十分理解されていると思いますか。（1つに○）

1. はい → 問20へ進む 2. いいえ → 問19-1にお答えください

問19-1 問19で「2. いいえ」と答えた方におたずねします。
どのようなことがあればお子さんが「理解されている」と思いますか。

(3つまで○)

1. お子さんを特別な目で見ないこと
2. お子さんのことを理解して受け入れができること
3. お子さんがやりたいことへの手助けがあること
4. お子さんへの思いやりのある声かけがあること
5. お子さんが話すことを無視せず、話を聞くこと
6. トイレや駅などを利用しやすくすること
7. 盲導犬などの補助犬や車いすでの入店ができること
8. お子さんが大きな声を出したり動き回っても、嫌な顔をされないこと
9. その他〔具体的に：

とい
問20

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」では、
「合理的配慮」として、国・地方公共団体や会社・お店など事業者に対して、障害
等のある人からバリアを取り除く対応を求められた際に、対応することが義務化さ
れています。

役所、保育所・保育園・幼稚園、学校、会社、お店などで、どのような合理的配慮が
あればよいと思いますか。（いくつでも○）

1. お子さんや主たる養育者の方が、困っていると思われるときは、声をかけ、手伝いの
必要性を確かめてから対応する
2. お子さんの歩行速度に合わせて案内したり、位置取りについて、お子さんの希望を聞く
3. 車いすなどを利用していらっしゃるお子さんが利用しやすいよう机の高さなどに配慮する
4. 移動を手伝う（段差がある場合やエレベーターがない場合の上下移動の補助など）
5. 障害や疾病等の特性に応じて、教室や会場の座席の位置を決める
6. 音や肌触り、室温など感覚面の環境調整を行う
7. お子さんの疲労や緊張などに配慮し別室や休憩スペースを設ける
8. 物の位置を分かりやすく伝える
9. 収納を手伝う（手の届きにくいところにあるものをとる、しまうなど）
10. 障害等の特性に応じたコミュニケーション手段を用いる
11. ゆっくりと短いことばや文章で、わかりやすく話しかける
12. 漢字を少なくする、ルビを振るなどの配慮をする
13. 伝える情報を紙に書くなどして整理し、ゆっくり具体的に伝えることを心掛ける
14. 障害や疾病等の特性を理解し、参加するための工夫をする
15. その他〔具体的に：]
16. 分からない

とい
問21

あなた（記入者）は、地域がお子さんの成長を支えてくれていると感じますか

（1つに○）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. とても感じる | 3. あまり感じない |
| 2. まあ感じる | 4. 全く感じない |

施策についておたずねします

問22 市内のバリアフリー環境の整備状況の満足度は、次のうちどれですか。

(1つに○)

- | | | | |
|---------|-------------|---------|------------------------|
| 1. 満足 | } → 問23 へ進む | 3. やや不満 | } → 問22-1 にお答え
ください |
| 2. やや満足 | | 4. 不満 | |

問22-1 問22 で「3」「4」と答えた方におたずねします。バリアフリー環境の整備状況に不満な理由は次のうちどれですか。(いくつでも○)

1. 建物の出入口や通路に段差があったり、幅が狭いこと
2. 公共施設や病院等にスロープ、エレベーターやエスカレーターがないこと
3. 誰もが使いやすいトイレの設置が不十分
4. 道路に障害物（商品や看板、放置自転車、電柱など）が多いこと
5. 点字ブロック・視覚障害者用信号の設置が不十分
6. 電車・バスなどへの乗車が困難
7. 駐車場がない
8. 標識や案内がわかりにくい
9. お子さんに配慮したコミュニケーションがされていない
10. 盲導犬などの補助犬や車いすでの入室が配慮された店・レストランが少ない
11. 介助者の確保が難しい
12. その他〔具体的に： _____ 〕

とい
問23

ふちゅうし しょうがいなどひとそだはったつ きこ しさく
府中市は障害等のある人や育ちや発達が気になるお子さんの施策について、どのよ
じゅうじつおもじゅうよう
うなことを充実させていけばよいと思いますか。(重要なものに5つまで○)

1. かくしゅそうだんじぎょう じゅうじつ
各種相談事業を充実すること
2. しょうがいなどひと じゅうたく かくほ ほか
障害等のある人が住宅を確保しやすくなるよう図ること
3. けんりょう ごじぎょう せいねんこうけんせい ど と く じゅうじつ ほか
権利擁護事業や成年後見制度の取り組みの充実を図ること
4. しょうがいなどひと はたら ば かくほ しゅうろう ていちゃく ほか
障害等のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること
5. ほけん ざいたくせいかつし えん じゅうじつ
ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実すること
6. りょう つうしょせつ せいび
利用できる通所施設を整備すること
7. ほ そうぐ にちじょうせいかつよう ぐきゅうふじぎょう じゅうじつ
補装具・日常生活用具給付事業を充実すること
8. がいしゅつじ いどうし えん じゅうじつ
外出時の移動支援サービスを充実すること
9. じゅうじつ
グループホームを充実すること
10. し かく ちょうかく しょうがい はいりょ じょうほうていきょう じゅうじつ
視覚・聴覚などの障害に配慮した情報提供を充実すること
11. あ き め し えん
ライフステージに合わせた、切れ目のない支援をすること
12. しょうがいなどひと じりつせいかつ と く かてい がっこう ちいき おこな
障害等のある人の自立生活をめざした取り組みが家庭・学校・地域で行われること
13. しょうがいなどひとそだ はったつ きこ たい ぼうりよく さべつ
障害等のある人や育ちや発達が気になるお子さんに対する暴力や差別をなくすこと
14. しょうがいなどひとそだ はったつ きこ じゅしん いりょうたいせい じゅうじつ
障害等のある人や育ちや発達が気になるお子さんが受診しやすい医療体制を充実すること
15. しょうがいなどひとそだ はったつ きこ たんきにゅうしょ じゅうじつ
障害等のある人や育ちや発達が気になるお子さんのための短期入所を充実すること
16. こ いけんひようめい し えん じぎょう じゅうじつ
子どもの意見表明を支援する事業を充実すること
17. せいしんじょうたい ふあんてい たい し えん じゅうじつ
精神状態の不安定に対する支援を充実すること
18. た ぐたいてき
その他〔具体的に： 〕
19. わ
分からない

とい
問24

ふちゅうし しょうがいなどひとそだはったつ きこ しさく ちいき く つづ
府中市の障害等のある人や育ちや発達が気になるお子さんの施策、地域で暮らし続
ひつよう など かん いけん ようぼう じゅう じゅう じゅう
けるために必要なこと等に関して、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書
きください。

いこう こ ほごしや かた しつもん
17ページ以降は、お子さんの保護者の方についての質問がございます。

つづ かいどう
続けてご回答ください。

こ おも よういく ひと
お子さんを主に養育している人についておたずねします

とい 問25 こ おも よういく ひと
お子さんを主に養育している人はどなたですか。(1つに○)

1. ははおや 母親
2. ちちおや 父親
3. その他〔具体的に： 〕

とい 問26 おも よういく ひと ねんれい おし
主に養育している人の年齢を教えてください。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|--------------|-----------------|
| 1. さい い か 19歳以下 | 4. さい 30～34歳 | 7. さい 50～59歳 |
| 2. さい 20～24歳 | 5. さい 35～39歳 | 8. さいいじょう 60歳以上 |
| 3. さい 25～29歳 | 6. さい 40～49歳 | |

とい 問27 おも よういく ひと しゅうろうじょうきょうなど おし
主に養育している人の就労状況等を教えてください。(1つに○)

1. じえいぎょう 自営業
2. せい き こ よう せいしやいん など 正規雇用(正社員等)
3. ひ せい き こ よう けいやく しゃいん しよくたくしゃいん など 非正規雇用(契約社員、嘱託社員、パート・アルバイト等)
4. その他〔具体的に： 〕
5. はたら 働いていない

とい 問28 せ た い しゅうにゆうげん ねんしゅう ねんしゅう ぜいぎん さ ひ まえ
世帯の収入源と、年収についておたずねします。年収は、税金などを差し引く前の額でお答えください。年金、手当、生活保護費、親族からの援助もすべて含みます。

(1) せ た い しゅうにゆうげん
(1) 世帯の収入源(いくつでも○)

- | | |
|--|----------------------|
| 1. ははおや し ご と しゅうにゆう 母親の仕事の収入 | 5. せいかつ ほ ご ひ 生活保護費 |
| 2. ちちおや し ご と しゅうにゆう 父親の仕事の収入 | 6. しんぞく えんじょ 親族からの援助 |
| 3. かくしゅて あて 各種手当 | 7. その他 |
| 4. こくみんねんきん こうせいねんきん しょうがい き そ ねんきん 国民年金・厚生年金・障害基礎年金 | 〔具体的に： 〕 |

せ た い ねんしゅう
(2) 世帯の年収(1つに○)

- | | |
|--------------------------------------|--|
| 1. まんえんみ まん 200万円未満 | 6. まんえんいじょう まんえんみ まん 600万円以上～700万円未満 |
| 2. まんえんいじょう まんえんみ まん 200万円以上～300万円未満 | 7. まんえんいじょう まんえんみ まん 700万円以上～800万円未満 |
| 3. まんえんいじょう まんえんみ まん 300万円以上～400万円未満 | 8. まんえんいじょう まんえんみ まん 800万円以上～900万円未満 |
| 4. まんえんいじょう まんえんみ まん 400万円以上～500万円未満 | 9. まんえんいじょう まんえんみ まん 900万円以上～1,000万円未満 |
| 5. まんえんいじょう まんえんみ まん 500万円以上～600万円未満 | 10. まんえんいじょう 1,000万円以上 |

問29 主に養育している人は、近隣に住む人と、どの程度おつきあいしていますか。(1つに○)

1. 個人的なことを相談し合える人がいる
2. さしさわりのないことなら、話せる人がいる
3. 道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる
4. あいさつや会話は無いが、顔を見れば近所の人だと分かる人がいる
5. 全く交流はなく、近隣に住む人を知らない

問30 主に養育している人は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとがありますか。(1つに○)

1. ある →問30-1にお答えください
2. ない →問31へ進む

問30-1 問30で「1. ある」と答えた方におたずねします。差し支えなければお困りの内容をお聞かせください。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 子どもの将来の生活のこと | 8. 近所づきあい |
| 2. 子どもの成長や発達のこと | 9. 家計のこと |
| 3. 学校や教育のこと | 10. 養育者の健康 |
| 4. 緊急時や災害時の対応 | 11. 養育者が高齢になった時のこと |
| 5. 差別や偏見 | 12. その他〔具体的に： |
| 6. 健康や医療のこと | |
| 7. 福祉サービスの利用 | 13. 特にない |

問31 主に養育している人は、生活上の困りごとを相談できる人がいますか。(1つに○)

1. いる →問31-1にお答えください
2. いない →問32へ進む

問31-1 問31で「1. いる」と答えた方におたずねします。差し支えなければ相談できる人・機関をお聞かせください。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 家族・親族 | 10. 障害児通所施設・サービス提供事業所 |
| 2. 友人・知人 | 11. 相談支援事業所 |
| 3. 保育園・幼稚園・学校 | 12. 児童相談所 |
| 4. お子さんと同じ状況の子どもがいる人 | 13. 市役所(保健センター等も含む) |
| 5. 民生・児童委員 | 14. 東京都の保健所 |
| 6. 児童館 | 15. 東京都立の療育機関 |
| 7. 子ども家庭支援センター みらい | 16. 医療機関(東京都立の療育機関除く) |
| 8. 子ども発達支援センター はばたき | 17. その他〔具体的に： |
| 9. 地域生活支援センター | 18. 相談する人はいない |

問32 主に養育している人は、どこから情報を得ていますか。(いくつでも○)

1. 家族・親族
2. 友人・知人
3. 保育園・幼稚園・学校
4. お子さんと同じ状況の子どもがいる人
5. 民生・児童委員
6. 児童館
7. 子ども家庭支援センター **みらい**
8. 子ども発達支援センター **はばたき**
9. 地域生活支援センター
10. 障害児通所施設・サービス提供事業所
11. 相談支援事業所
12. 児童相談所
13. 市役所(保健センター等も含む)
14. 東京都の保健所
15. 東京都立の療育機関
16. 医療機関(東京都立の療育機関除く)
17. その他〔具体的に: 〕

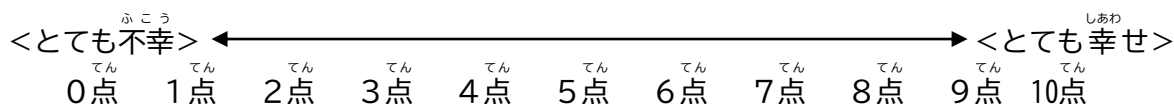
問33 将来、主に養育している人が亡くなった場合、どのようなことが不安ですか。(いくつでも○)

1. 住む場所
2. 日常的な介助や家事の援助
3. 日常的な意思決定や支援
4. 相談できる人や機関
5. 医療機関の受診
6. 生活に必要な収入
7. お金の管理
8. 日中を過ごす場
9. 休みの日の過ごし方
10. 緊急時の支援
11. 地域の人との交流や支えあい
12. その他〔具体的に: 〕

問34 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

問35 あなたは、現在どの程度幸福だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とした場合、あなたはどれぐらいになると思いますか。最も近いものを選びください。(1つに○)



とい
問36

そだ はったつ き こ かん よういく ふたん かん けいげん
育ちや発達が気になるお子さんに関して、養育の負担感やストレスを軽減させるた
めに、主に養育している人が重要だと考えることは何ですか。次の項目の中から、
3つ、優先順位の高いものから順に、下記の に左から番号を記入してくだ
さい。

1. にっちゅう いちじてき こ あず
日中、一時的にお子さんを預かってくれるサービス
2. すうじつかん こ あず
数日間、お子さんを預かってくれるサービス
3. こ せ わ きんぶん て まわ か じ
お子さんの世話のために、十分に手が回らない家事などへのサポート
4. こ じたく きんじょ かいじょ
お子さんを自宅や近所で介助してくれるサービス
5. そだ はったつ き こ きょうだいし まい たい
育ちや発達が気になるお子さんの兄弟姉妹に対するサポート
6. そだ はったつ き こ も よういくしゃ どう し こうりゅう じょうほうこうかん おこな
育ちや発達が気になるお子さんを持つ養育者同士が交流し、情報交換などを行うこと
7. おも よういく ひと じ しん し ゅ み がくしゅう しゅうろう しゃかいてきかつどう さん か
主に養育している人自身が趣味、学習、就労など、社会的活動に参加すること
8. こ しょうらい おも よういく ひと て はな せいかつ みとお も
お子さんが将来、主に養育している人の手を離れても生活できるという見通しを持てること
9. おも よういく ひと い が い か ぞ く こ せ わ さん か
主に養育している人以外の家族が、もっとお子さんの世話に参加してくれること
10. こ せ わ しょう けいざいてき ふたん けいげん
お子さんの世話のために生じる経済的な負担が軽減されること
11. こ しょうがい たい ただ ちしき む かた まな き かい じゅうじつ
お子さんの障害に対する正しい知識や、向きあい方を学ぶ機会を充実すること
12. こ そだ はったつ なん き がる そうだん てきせつ き かん
お子さんの育ちや発達について何でも気軽に相談でき、適切なアドバイスをもらえる機関
13. りょういく きょういく たいせい じゅうじつ
療育や教育の体制を充実すること
14. がくどう ほ う か ごかつどう じゅうじつ
学童クラブなど放課後活動を充実すること
15. いりようき かん つういん たいおうなど じゅうじつ
医療機関のサービス（通院、対応等）が充実すること
16. た ぐたいてき
その他〔具体的に： 〕

ばんごう きにゆう 番号を1つ記入	ばんごう きにゆう 番号を1つ記入	ばんごう きにゆう 番号を1つ記入

きょうりよく
——ご協力ありがとうございました——